

# 令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立鞍月小学校

## ①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） (％)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	25.2	37.4	28.8	8.6	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	69.8	20.9	7.9	1.4	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	21.6	66.2	10.8	1.4	0.0
問4	英語の授業がわかる。	33.8	44.6	17.3	4.3	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	20.9	45.3	26.6	6.5	0.7
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	15.8	48.9	28.1	6.5	0.7
問7	アルファベットの大きい文字が書ける。	84.2	11.5	2.9	0.7	0.7
問8	アルファベットの小さい文字が書ける。	69.1	20.1	8.6	1.4	0.7
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	56.8	23.0	14.4	4.3	1.4
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	20.9	36.0	24.5	16.5	2.2

## ②来年度に向けての指導改善の具体策(令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・児童の意欲を持続させ、目的意識をもたせるために、単元の始めにゴールを示し学習の見通しを持たせる。
- ・英語を豊かに聞かせるために、英語インストラクターとのやりとりや、クラスルームグリッシュを大切にして学習を進める。

## ③学校関係者評価

- ・肯定的評価が80%を超えた項目(問2、問3、問7、問8)を見ると、英語の勉強は大切だと自覚し、学びに向かう姿が育っていると評価できる。そして初歩的な学習については「できる」と思っている児童が多いことは、学習の成果のあらわれと言ってよい。
- ・肯定的評価が70%台の項目(問4、問9)については、おおむねねらいを達成しているのではないか。特に、「英語の授業が分かる」という児童が78%であることは、授業の工夫の結果と評価したい。
- ・肯定的評価が60%以下の項目(問1、問5、問6、問10)については、今後の課題であろう。「好き」でなおかつ「できる」授業にするために、今後の努力に期待したい。想像するに、「声を出して、互いにコミュニケーションを図る授業」が少ないか、子どもたちが苦手としているように思われる。インストラクターの先生と連携を図り、あと一步の取り組みを期待したい。